

# 小学生プログラミング大会 県の最優秀賞に 安曇野の樋口君

## 全国大会出場へ

全国選抜小学生プログラミング大会県大会（信濃毎日新聞社、全国新聞社事業協議会主催）の表彰式が5日、松本市の信毎メディアガーデンであった。「みんなのみらい」をテーマにコンピュータープログラミングで開発したソフ



県大会の表彰式に  
出席した樋口君

トウェア作品の出来栄を競い、地球環境を守るため人に見えることを考えるゲームを作った才教学園小学校（松本市）1年の樋口陽大君（7）は安曇野市に最優秀賞が贈られた。

樋口君の作品は「地球を守ろうゲーム」。海、森、水、リサイクルの四つのステーションを設け、海ではごみを集め、リサイクルではごみを正しく分別するなどして、各ステーションをクリアする。

樋口君は昨年5月、親類の勧めで、ゲームやアニメーションを作る子ども向けプログラミングソフト「スクラッチ」の独学を始めた。今回のゲームはこのソフトを使い約1カ月で仕上げた。休日にも集中して作業することが多かったといい、「プログラミングが好きです」と話した。

樋口君は3月3日に東京都である全国大会に県代表として出場。作品の特徴や苦労した点などを発表する。